


# AmiVoice® Ex7 簡易操作マニュアル(使用開始時)

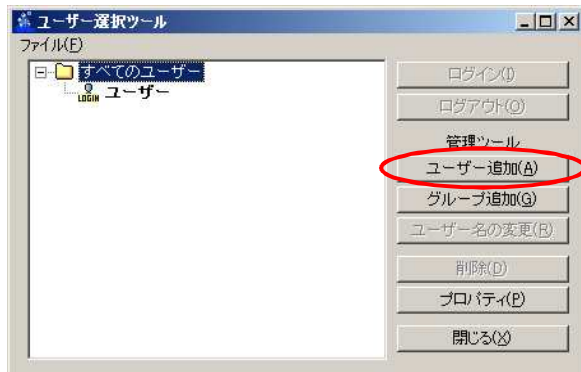
## 【ユーザー登録】

音響学習、候補学習、ユーザー辞書、テンプレート等を活用する為、ユーザー登録を実施して下さい。  
※設定項目、学習結果はユーザー毎に保存されます。

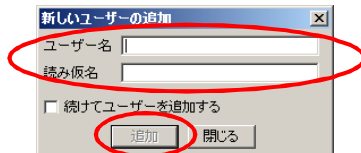
①AmiVoice Ex7 のツールバー(下図)から、 を選択します。



②「ユーザー追加(A)」ボタンを押下します。



③ユーザー名と読み仮名を入力し、「追加」ボタンを押します。



④続いて、②の画面に戻りますので、  
左側の窓にて、先ほど登録したユーザー名を選択し、「ログイン」ボタンを押して下さい。

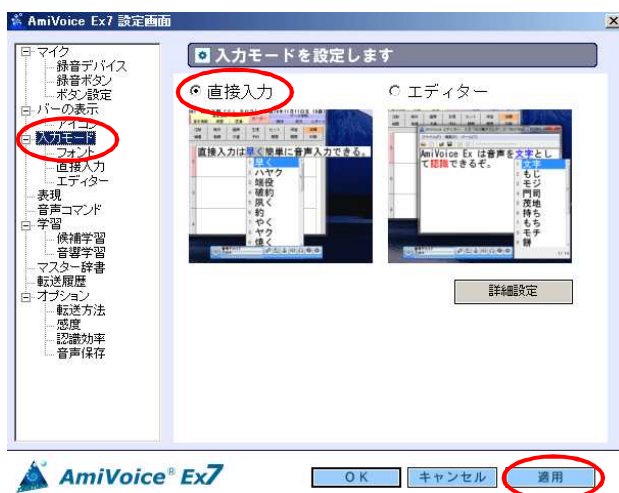
⑤AmiVoice Ex7 のツールバーのユーザー名が変更になったことを確認して下さい。(下図参照)  
その後、②の画面の「閉じる(X)」ボタンを押して下さい。



## 【入力方式の設定】 直接入力

入力先のエディターとAmiVoiceのエディターで文字転送が行えない場合は直接入力モードをご使用ください。


・設定⇒入力モード⇒直接入力にチェック⇒適用



## 【マイク音量の調整】

\* マイクの音量を調整してください。



① AmiVoice Ex7 のツールバー(上図)から、 を選択します。

② ツールバーのレベルメータを参照し、マイクの音量を変更します。



\* 声の小さい方は、「大」の方に動かして下さい。  
声の大きな方は、「小」の方に動かして下さい。


変更が終わりましたら、右上の×印をクリックして下さい。

音量がレベルメータの赤い範囲になると認識結果が悪くなります。  
赤くならない範囲に調整をしてください。

## 便利にカスタマイズ【スピーチマイクのボタン設定】

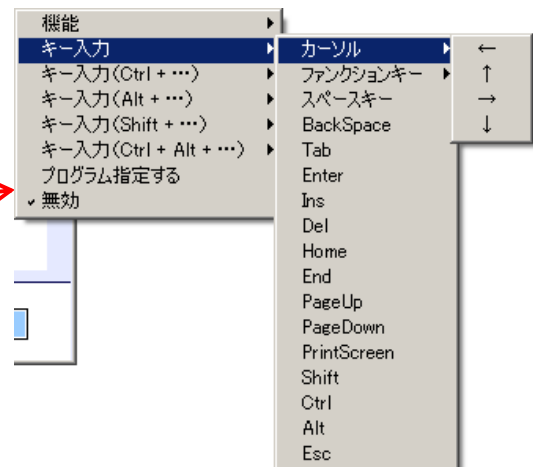
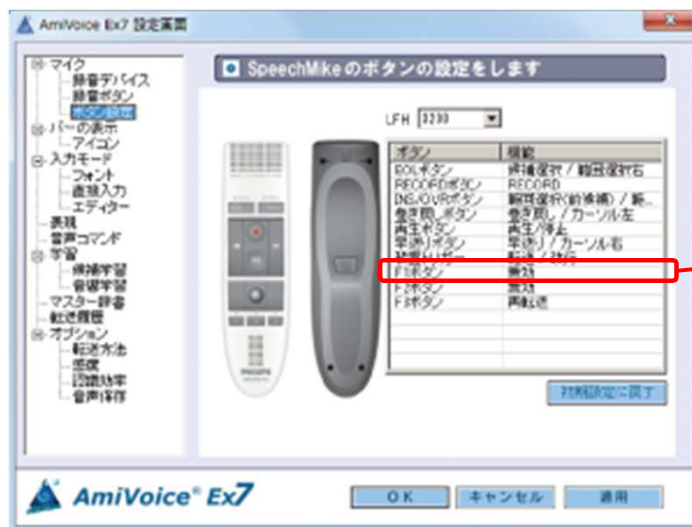
\* マイクのF1、F2等にキーボード操作と同じ割り当てが出来ます。



① AmiVoiceのツールバー(上図)から  を選択します。

② 左の窓から、マイク → ボタン設定を選びます。

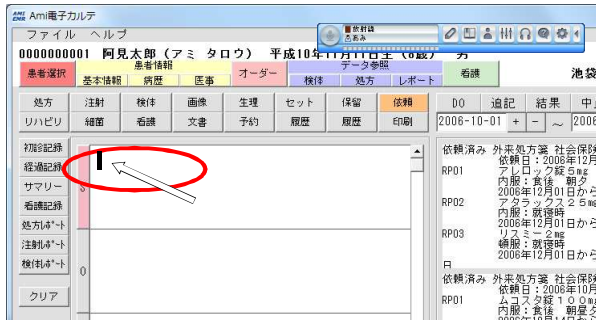
リストの中から好きなボタンを割り当てられます。



# AmiVoice® Ex7 簡易操作マニュアル (ステップ ①)

## 【通常操作の仕方】

①入力したいところをマウスでクリックします。



②マイクの赤いしるしのついたボタン(RECORDボタン)を押下しながら、マイクを口に近づけて(マイクと口の距離が3~5cm程度)、発話します。



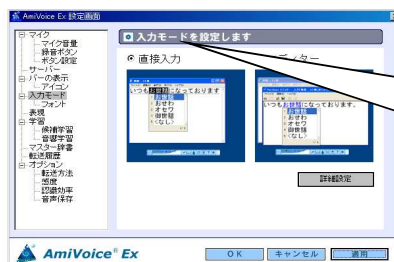
③話した内容が文字化されカーソル位置に表示されます。

頭部 MRI。

FLAIR 像及び T2 強調画像で high intensity を示す点状病変が左大脳基底核領域、放線冠、半卵円中心、側脳室周囲に認められる。

以上の所見は多発ラクナ梗塞及び深部白質、

④後ろのボタンを押すと、確定となります。  
後ろボタン無しでも次の発話を関知すると前部が確定します。



注) 設定→入力モード「直接入力」の設定になっている時の入力方法です。

**ポイント!**

**音声認識は前後関係を見て認識します。  
単語発話ではなく、文章で発話しましょう。**

(例文) 脳実質に挫傷や血腫などの外傷性変化は認められません。

(×) のうじつ にぎしやけつしゅなどのがいしやせいへんかはみとめられません  
(◎) のうじつ にぎしやけつしゅなどのがいしやせいへんかはみとめられません まる

# AmiVoice® Ex7 簡易操作マニュアル (ステップ ②)

文字を修正してみよう！

## ① 選択肢から修正



ROCORD

肝内に多発性腫瘍が散在している。

EOL(下に)

かんないに多発性腫瘍が散在している。

INS(上に)

- 1 肝内
- 2 かんない
- 3 カンナイ
- 4 管内
- 5 <なし>

選択肢から修正出来ます

<<左に >>右に カーソル移動します  
選択肢はEOLボタン(選)で下に動きます  
EOL選択後はINSで上に戻ります

※INSボタンはEOL選択前と選択後で動作が異なります

## ② 上書きモードに慣れよう → EOL未選択時



**肝内に多発性腫瘍が散在している。**

発話内容を取り消し、再入力する場合は「INS」キーを押すと「上書きモード」になります。  
素早く再入力する場合に御使用ください。

※発話直後確定前の場合、BackSpaceで取り消すことも出来ます。

スピーチマイクには数多くのボタン機能があります。  
ボタン操作に慣れると、手元で多くの操作ができるようになります。

また、同等の操作はキーボードでも行えます。

## ポイント！

ボタンのカスタマイズでより便利になります。  
「BackSpace」や「Del」「Enter」などが使えます。

SpeechMikeから手を離さないことで、入力時間短縮につながります。




# AmiVoice® Ex7 簡易操作マニュアル(便利機能)

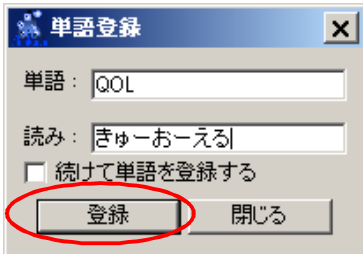
## 【単語登録の仕方】

\* 固有名詞等は辞書に登録されておりません。よく使用するものは単語登録をして下さい。



① AmiVoiceのツールバー(上図)から  を選択します。

② 下図が表示されますので、単語と読み(ひらがな)を入力し、「登録」を押してください。




\* 単語登録は、ユーザー単位に登録されます。他のユーザーにも単語登録内容を反映させたい場合、ユーザー辞書のエクスポート、インポートにて対応可能です。詳しくは、取扱説明書のP24、25のインポート・エクスポートを参照して下さい。

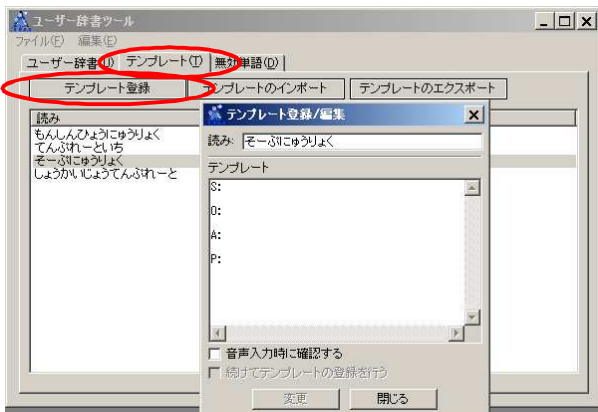
## 【テンプレート登録の仕方】

\* よく使う文章を登録し、音声によって入力できる機能です。



① AmiVoiceのツールバー(上図)から  を選択します。

② 下図が表示されますので、「テンプレート」をクリックし、「テンプレート登録」をクリックして下さい。テンプレート登録/編集画面にて、「読み」には音声入力するときの読みかたを入れ、「テンプレート」には表示したい内容を登録して下さい。



\* テンプレートの読みは、普段使わない言葉にして下さい。例えば、X線のテンプレートを作る場合、「えっくすせんてんぶれーと」のように普段使わない言葉にして下さい。読みを「えっくすせん」にしてしまうとX線を出したい時も、テンプレートが表示されてしまいます。

\* テンプレート登録も、ユーザー単位に登録されます。他のユーザーにも登録内容を反映させたい場合、テンプレートのエクスポート、インポートにて対応可能です。詳しくは、取扱説明書のP24、25のインポート・エクスポートを参照して下さい。

## ポイント!

**単語登録時の「よみ」は他の言葉と重ならないように工夫してください。**

※語彙数が少ないと誤認識になる確率が高くなります。

同音異義語があると認識率の低下だけでなく、使い勝手が低下します

## 【音声コマンド一覧】

AmiVoice Exには以下のコマンドで入力できる記号等があります。

### ○記号系

読み	記号
まる	。
てん	、
かんま	、
ぴりおど	.
なかぐる	・
すぺーす	(半角スペース)
ころん	:
かっこ	(
かっことじ	)
すらっしゅ	/
はいふん,まいなす	—
ふらす	+
いこーる	=
から	~
くえすちよん,はてな	?
しゃーぶ	#
あすたりすく	*
こめじるし	※
やじるし	→

### ○コマンド系

読み	コマンド
かいぎょー	改行する
ここでかいぎょー	改行する
たぶ	タブを挿入する
いちもじさくじょ	1文字削除する
いちもじもどる	1文字戻る
いちもじすすむ	1文字進む
さいしょにもどる	最初に移動する
さいごにすすむ	最後に移動する
すべてさくじょ	すべて削除する

### ○補助系

読み	入力内容
ひらがなのが	「が」が入力される。

※を・に・は・も・へ・で・と・やでも同じ事が可能。

「ひらがなのを」など